

平成28年度

市政モニターアンケート調査結果
【 高島地区について 】



長 崎 市
高島行政センター

1. 調査の目的

高島地区には、世界文化遺産の構成資産「高島炭坑（北溪井坑跡）」があるほか、「しまめぐり双六」「UMIBOUZ」「リレーマラソン」など、年間を通してさまざまなイベントを行っており、交流人口の拡大を図っているところです。今回のアンケートでは、どの程度のかたがこれらについて認識し、また利用しているかを把握・分析して、今後の周知活動の参考にすることを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間：平成 28 年 6 月 8 日 ～ 平成 28 年 6 月 19 日

送付数：217 人（郵送モニター 174 人 インターネットモニター 43 人）

回答率：87.1%（189 人）

（郵送モニター 155 人 インターネットモニター 34 人）

3. 調査結果

高島でのイベントを知った媒体についての質問では、「新聞・テレビ」が最も多く、次いで「広報ながさき」「チラシ・パンフレット」「ホームページ」の順になりました。また、最も効果的な周知方法についての質問においても、「新聞・テレビ」が最も多く、以下、同じ順番という結果になりました。

知っているイベントは「UMIBOUZin 高島」が 33.3 パーセントで 1 番高い数字を示しましたが、昨年度まで「UMIBOUZin 高島」のみテレビ CM を行っていたこともあり、このような結果になったものと思われます。

一方で、高島のイベントを「どれも知らない」と回答した年代は、60 代のかたが最も多く、これは、親子向けや、若者向けのイベント内容が多いことが要因であるものと考えています。また、高速船のお得なパック券についても、「知らない」と答えたかたが 64.0 パーセントであり、周知が十分でないことが分かりましたので、担当所属と連携して周知活動に努めていきたいと思えます。

効果的な周知方法である「テレビ」については、今年度から「UMIBOUZin 高島」のテレビ CM に併せて、他のイベントの紹介を行ったり、担当者がテレビ番組に出演して告知したりするなど、改善に取り組んでいるところです。今回の調査結果を踏まえ、周知方法について再度検討し、交流人口拡大による高島の活性化に向けて取り組んでまいります。

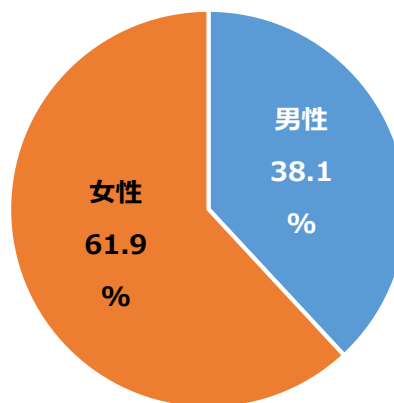
4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入して、少数点第 1 位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても 100%に合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が 100%を上回る場合があります。

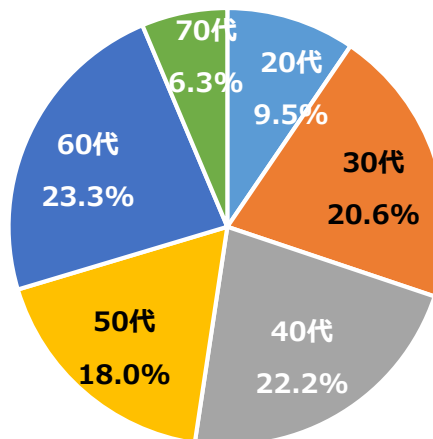
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	72人	38.1%
女性	117人	61.9%
合計	189人	100%



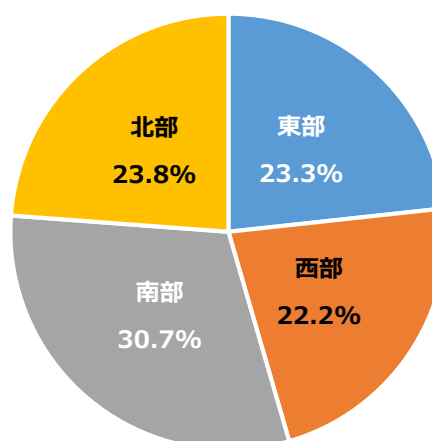
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	18人	9.5%
30代	39人	20.6%
40代	42人	22.2%
50代	34人	18.0%
60代	44人	23.3%
70代	12人	6.3%
合計	189人	100%



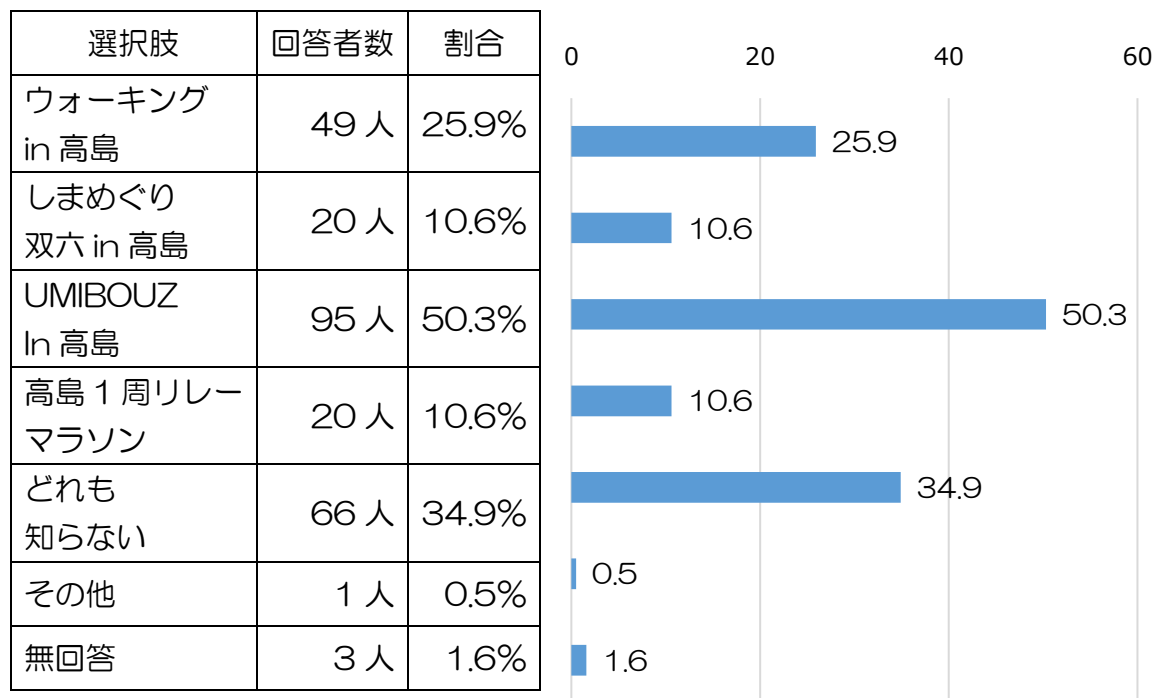
問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	44人	23.3%
西部	42人	22.2%
南部	58人	30.7%
北部	45人	23.8%
合計	189人	100%

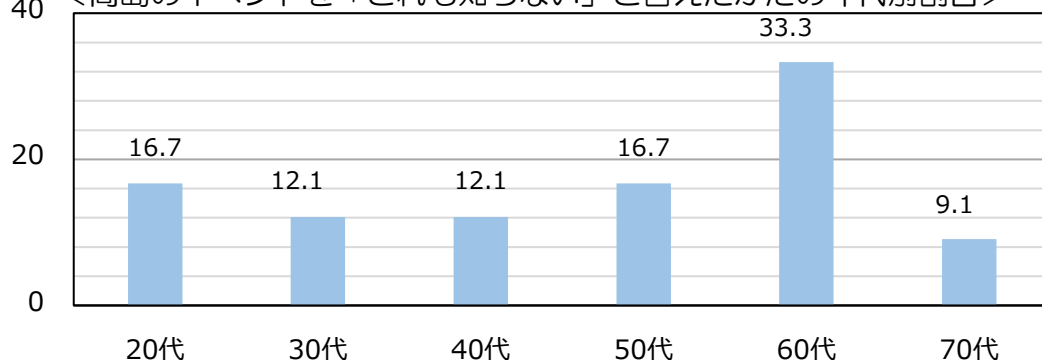


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

問 11 世界遺産に登録された高島炭坑（北溪井坑跡）のある高島では、1年を通してさまざまなイベントを開催しています。次のイベントのうち、知っているものに○をつけてください。【複数回答可】（必須）



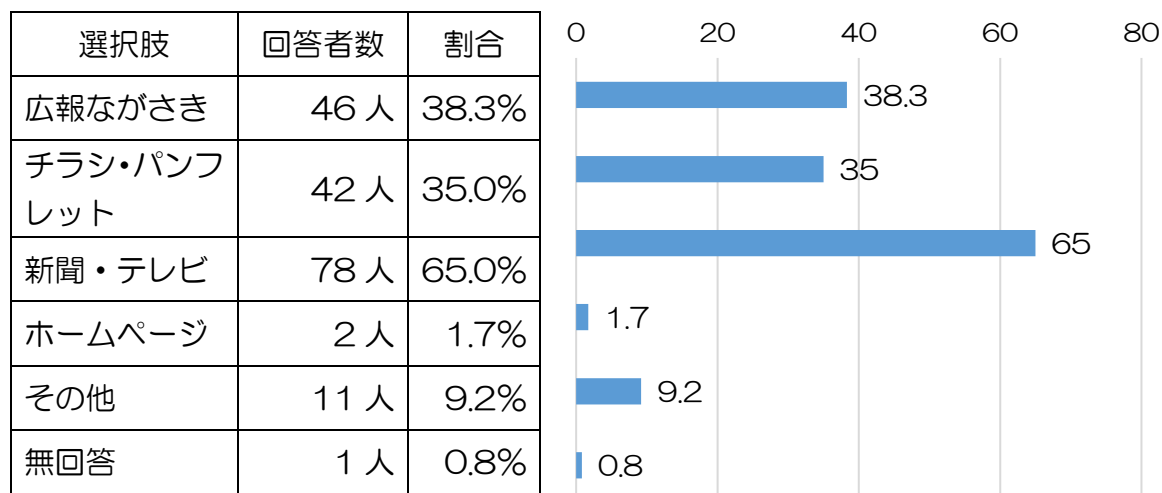
＜高島のイベントを「どれも知らない」と答えたかたの年代別割合＞



イベントの中で、最も多く「知っている」と回答があったのは50.3パーセントの「UMIBOUZ in 高島」、次いで25.9パーセントの「ウォーキング in 高島」でした。

一方、「どれも知らない」と答えたかたは34.9パーセントとなっており、そのうち60代のかたが33.3パーセントと高い割合になっています。これはイベントの内容が親子向けや若者向けが多いことが要因の一つと考えられますが、全体的に見て、周知活動の必要性を痛感させられた結果となりました。

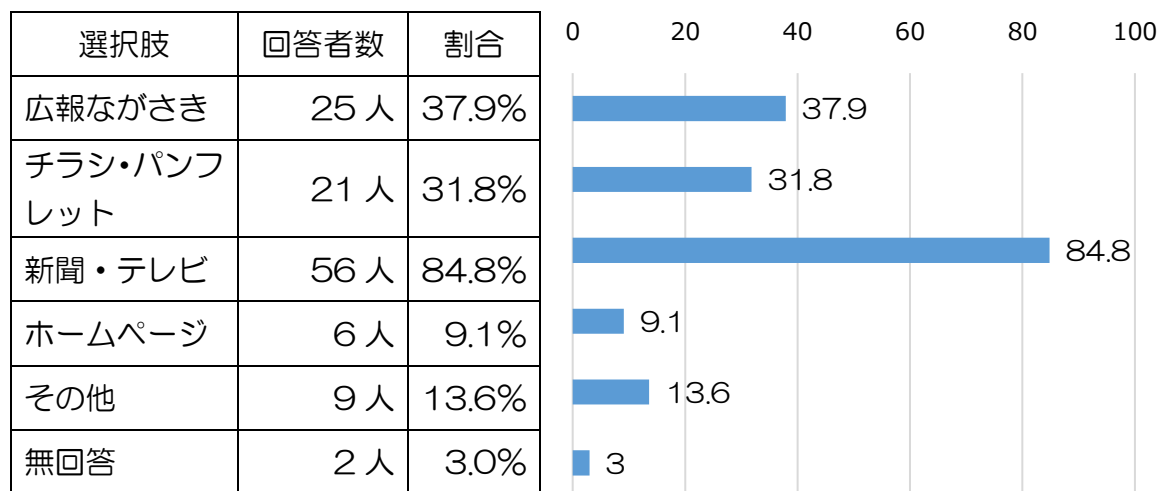
問 12 問 11 で知っているイベントがあったかたに質問です。あなたは、イベントを何で知りましたか？該当するものに○をつけてください。【複数回答可】（必須）



イベントを知った媒体は、「新聞・テレビ」が 65.0 パーセントと最も多く、次いで「広報ながさき」が 38.3 パーセント、「チラシ・パンフレット」が 35.0 パーセントでした。「ホームページ」については、平成 28 年 2 月「高島観光ナビ」というホームページを開設し、情報発信に取り組んでいたにもかかわらず、1.1 パーセントという厳しい結果となりました。

昨年度までは「UMIBOUZin 高島」のみテレビ CM を行っていましたので、問 11 で、「UMIBOUZin 高島」を知っていると答えたかたが多かったことを考え合わせると、テレビ CM をご覧になったかたが多かったものと思われます。

問 13 問 11 で「どれも知らない」と答えたかたに質問です。イベントをお知らせする方法として効果的だと思うものに〇をつけてください。【複数回答可】（必須）



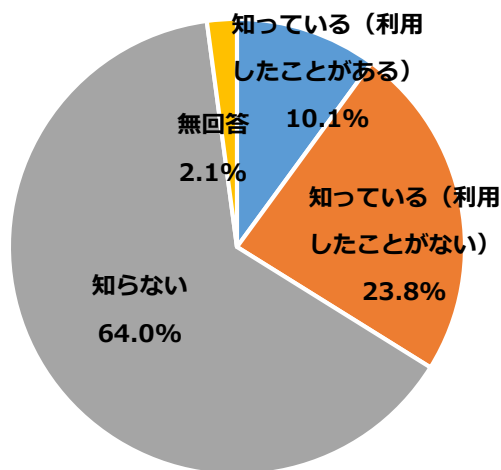
イベントを周知する方法として効果的だと思うものについての質問では、「新聞・テレビ」が84.8パーセント、「広報ながさき」が37.9パーセント、「チラシ・パンフレット」が31.8パーセント、「ホームページ」が9.1パーセントとなり、問 12 のイベントを知ることができた順番と同じ結果になりました。

今年度からは、「UMIBOUZin 高島」をテレビで周知する際に、他のイベントも併せて告知するなど、テレビでの周知を増やしていくよう、一部改善に向けて取り組んでいます。

ホームページについては、イベントに限らず、高島の魅力を知っていただくものですが、アクセス数を増やすことでイベントの周知にもつながるものと考え、引き続きホームページでの情報発信に取り組んでいきます。

問 14 高島を訪れる際には、長崎港で販売されている高速船のお得なパック券を利用することができますが知っていますか？（必須）

選択肢	回答者数	割合
知っている (利用したことがある)	19人	10.1%
知っている (利用したことがない)	45人	23.8%
知らない	121人	64.0%
無回答	4人	2.1%
合計	189人	100%



高速船のお得なパック券については、64.0%のかたがパック券自体を知らないという結果になりました。一方、知っているかたのうち約3割のかたが実際に利用したことがあると答えています。

お得なパック券を、知っていただくことで、利用者の増加が見込まれると思われしますので、今回の調査結果を踏まえ、担当所属と連携して周知活動に努めていきたいと思っております。